

「救急救命法教室」「防災安全教室」の内容について

応急手当の知識と技術。いざという時に備えて身に着けておきましょう。

「救急救命法教室」に参加して応急手当の技術の習得を。

心臓が止まってしまうような重大な事故は、いつ、どこで、何が原因で起こるか分かりません。心臓と呼吸が止まってから時間の経過とともに救命の可能性は急激に低下しますが、心肺蘇生やAED（自動体外式除細動器）などの応急手当を行えば、救命の可能性はおよそ2倍になることが分かっています。

傷病者を救うためには、何よりもまず、多くの人が応急手当の知識と技術を持つことが必要です。応急手当の講習を受けていれば、より確実により自信を持って心肺蘇生を行うことができるかもしれません。応急手当の技術は、自分で実践して身につけることが重要です。

そこで、安全教育振興会では、日本赤十字社指導員による「救急救命法教室」を実施しています。是非参加して知識と技術を身につけましょう。

講習の内容は、次の通りです。



◎心肺蘇生法

乳幼児から成人までに対する心肺蘇生の流れを学びます。

◎AEDの使用方法

乳幼児から成人までに対するAEDの使い方を学びます。



【救急救命法教室の今後の日程】

回	月・日	受付期間	参加決定	開催案内
2	9月14日	8月31日～9月4日	9月9日	7月7日
3	10月5日	9月7日～9月11日	9月16日	8月31日
4	10月26日	9月28日～10月2日	10月7日	9月14日
5	11月2日	10月13日～10月19日	10月22日	10月2日
6	11月16日	10月13日～10月19日	10月22日	10月2日

防災・減災教育の場

「防災安全教室」に参加して「地震」「火災」「風水害」に関する知識や役に立つ行動を

安全教育振興会では、横浜市民防災センターを会場に、横浜市民防災センターの員による「防災安全教室」を行っています。

横浜市民防災センターは、「楽しく学んでしっかり備える」をキャッチフレーズに、地震の揺れや初期消火、煙からの避難、災害の疑似体験など、様々なコンテンツを体験することで、市民の皆様にも自助・共助の大切さを学んでいくための、横浜市唯一の体験型学習施設となっています。

「防災安全教室」の内容は、次の通りです。

◎防災講話

所要時間は30分です。「地震」「火災」「風水害」に関する知識や役に立つ行動を講義形式で行います。

◎防災シアター

横浜でこりうる災害を臨場感あふれる映像で身近に体験することができます。

◎地震シミュレーター



最大震度7の揺れが体験でき、過去発生した地震、戸建住宅や超高層ビルでの揺れなど、様々な揺れを体験することができます。

車いすの方も体験することができます。

◎火災シミュレーター

訓練用消火器を使った消火体験と、煙からの避難行動を体験できます。

煙体験では、体に害のない煙を室内に充満させ、室外からもむ無理や避難の様子を見学することができます。



◎減災トレーニングルーム

家庭のリビングをイメージした部屋の中で、地震や火災などの災害を疑似体験し、身を守る行動や避難までの流れを学びます。



【防災安全教室の今後の日程】

回	月・日	受付期間	参加決定	開催案内
2	10月13日	9月7日～9月11日	9月16日	8月31日
3	11月6日	10月13日～10月19日	10月22日	10月2日